

# 中西最後の運動会



児童・園児・会場の皆さんと撮った運動会記念写真

## 幼稚園との合同運動会

令和6年6月1日、中西別幼稚園・中西別小学校の最後の合同運動会が開催された。運動会のスローガンに、園児4人と児童17人が

## 中西っ子新聞

発行元

中西別小学校

5年

高橋 芯大

力を合わせて戦った。今回が最後の運動会ということで、保護者や地域の人々が参加する種目を多く取り入れた。保健体育委員会の5人のメンバーが中心となり、新しいプログラムの種目を企画し運営した。新しい種目は、4つ考え、『逃走！？玉入れ』『親子ドッジボール』『ロープ取り対決』『笑顔☆はないちもんめ』で、会場が盛り上がった。

中には、大人の『綱引き』『リレー』も行われ、最後の運動会を会場に集まったみんなで楽しんだ。

一年生の感想は、「運動会が始まって良かったです。僕は綱引きが楽しかったです。」「赤組が負けただけ楽しかったです。親子競技の大玉転がしが楽しかったです。」「ロープ取り対決を頑張りました。楽しい運動会でした。」と、振りかえった。

## ふるさと祭り

6月15日、中西別の伝統行事である、中西別神社のふるさと祭りが行われた。

毎年、6月14日、15日に行われているふるさと祭りは、宵宮祭では、草原太鼓や、手押し相撲大会、お楽しみ抽選会のプログラムが行われた。翌日の本祭では、街を歩くパレードや幼稚園・小学校による相撲大会が行われた。パレードでは、幼稚園の園児による神輿に始まり小学校低学年の山車、中学年の金棒、高学年の神輿、中学校の神輿と手踊りなど、たくさんの方が

が街を歩いた。

ふるさと祭り実行委員長の大塚さんにインタビューした。中西別で初めて楽器を使ったお祭りは、百年くらい前から行われていること。神輿を担ぐのは、神様を運ぶためで作物がたくさん取れるように願って病気を追い払うため。金棒を鳴らしながら歩くのは、お神輿が街を歩くと神様の恵みが与えられ街や人を元気にするためであった。長い間たくさんの方がかわって伝統行事を受け継いでいることが分かった。

